



## 祝 東北大会出場！ 囲碁将棋部

2年4組 篠原 滉平（古川東中学校出身）

11月8, 9日に青森県八戸市で開催された東北地区囲碁将棋選手権大会に参加してき

ました。私は級位者戦の部に出場し、結果は5勝0敗で優勝することができました。普段対局することのない他県の生徒との対局で、自分とは違う序盤の打ち方や手筋など勉強になることが多くありました。これからは1月の新人大会に向けて練習に励みたいと思います。

1年2組 小野史瑠（古川中学校出身）

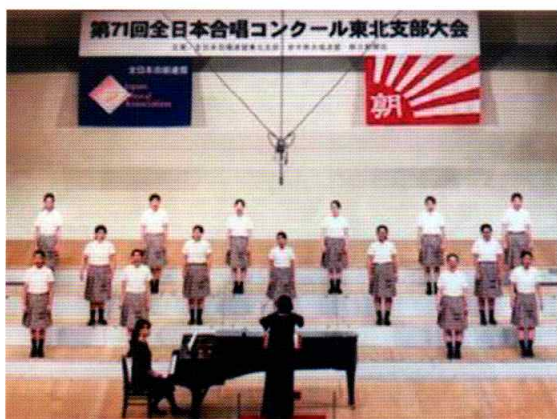
私達囲碁将棋部は、11月に仙台一高で行われた高校新人戦宮城県大会に出場してきました。私はA級で準優勝し12月に盛岡で行われる東北大会と2月に福島で行われる全国大会に出場することになりました。これも顧問の亀井先生が対局後声を掛けてくれたおかげだと思っています。全国大会では、予選突破目指して頑張りたいと思います。



## 合唱部

2年2組 山本 紫貴（田尻中学校出身）

合唱部は、今年8月に行われた全日本合唱コンクール宮城県大会で金賞を受賞し、9月27日に東北支部大会（岩手県）に出場しました。昨年は男子校以来、三十数年ぶりの東北大会出場を果たし、今年も良い結



果を残せるように、モチベーションを高く練習に励みました。県大会の会場で東北大会出場の結果が発表されたとき、喜びとともに全身が震え、熱いものが込み上げてくるのを感じました。

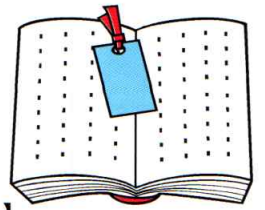
東北大会では、本番に備えて前日から岩手に入り最終確認をしました。今まで約半年の間練習してきたことをこの大会で発揮できるのが楽しみでした。入部したての頃、人数の少ない私たちは、ステージ上で他の団体よりも間隔をあけて並ぶので、慣れずに不安になりました。しかし、自分の役割を理解し、楽譜を頭の中で冷静に追いながら歌えるようになるまで練習したので、今大会では不安になることはなく、良い緊張感をもって演奏することができるようになりました。他県の団体は、強豪校として全国的に名高い学校が揃い、とてもハイレベルな演奏を繰り広げました。その演奏は意思をもち、心に訴えかけるようで私たちを圧倒しました。一体感、透明度、緩急の表現など、どれをとっても私たちが追い求めるものが演奏に表れていてとても感動しました。

後日、反省会を行った際には、一人一人が自分の課題を見つけ、他の団体の良い点や感じたことなどを話し合う中で、自分たちは聴く力も養われていることが実感できうれしく思いました。今後もより高い目標とモチベーションを持ち続けて練習に励みたいです。

## 文芸部

2年5組 長谷川 瑠太 (中新田中学校出身)

この度、私は文芸部門県大会・詩部門にて優秀賞を受賞しました。賞を取った作品は『世界のかげら』というものです。この作品は、おそらく私が生まれて初めて、詩をつくりたい、と思いつくった作品です。この作品のおかげで、私は【詩で自分を表現する】新たな自分を見つけることができました。この詩こそが私のターニングポイントとなってくれたと思います。私はこれからも新たな自分を見つけられるように、毎日様々なことに励んでいきます。



## 大学出前講座実施！！

古川高校では、10月29日(火)の3校時から6校時に、1,2年生を対象とした大学出前講座を実施しました。大学における各分野の専門的な学問に触れることで、学問に対する生徒の興味・関心を高揚させ、今後の進路選択の一助となることを目的としています。8つの大学から、14人の教授や准教授をお呼びして、それぞれの講座を開きました。1,2年生477名は、めいめいに興味・関心のある講義2つずつを選んで受講しました。山形大学の協教授の「公開鍵暗号のしくみ」を聴講した1年生の女子生徒は「数学は、得意ではないが楽しく受講できた」とか「私たちが学習している数学が楽しいことや便利なことに利用できることに驚いた」と感想を述べていました。また、東北学院大学の遠藤教授の「なぜ日本人は好意的に描か



れているか? 「ガリバー旅行記」における日本表象」を受講した2年生男子生徒は、「ガリバー旅行記では、多くの地域が批判的に描かれていることが多いなかで、日本は世界から注目されているとか親切で忠実な人種であると描かれていることが印象に残っている」と感想を述べていました。その他の講義についても、感想文を見ると、大多数の生徒が深く感銘を受けたことがうかがえる感想を書いていました。生徒たちが、

今後より一層自らの進路実現に向けて努力するようになることを期待します。

## 第3回小講演会開催！

1年5組 千葉 咲弥 (古川東中学校出身)

11月28日、東北学院大学文学部教育学科教授の村野井仁先生を講師にお招きした第3回小講演会が、古川高校で開催されました。

「第二言語習得研究に基づく効果的な英語学習法」という演題のもと、村野井先生からは第二言語習得研究という研究分野において明らかになっていることに基づいた、効果的な英語学習法についてお話をいただきました。学習法というテーマに少し難しいイメージを持つかもしれませんが、面白かつためになるお話であり、私は今回の講演会のおかげで、これからどうやって英語を学習すべきなのかということだけでなく、国際社会の中で、自分はどのように英語を使った異文化コミュニケーションを取っていくべきなのかということも考えることができました。

